

## <指導上のポイント>

ここで言う量とは、大きさ・太さ・厚さ・広さ・長さ・量の多さ（かさ）・重さのことです。小学校入試前には、この問題集で出題されている程度の量概念は完全に理解している必要があります。これらの感覚は、経験によって理解できるようにしなければいけません。そのためにも、日常生活から様々なことを学べるようにしてあげてください。

1ページの<大小①>は、全体を把握して1番大きいものや、1番小さいを感じ取る簡単な問題です。2ページの<大小②>の問題は、2番目に大きいもの、小さいものを見つける問題ですが、この種の問題は、まず1番のものを見つけて、それがなければ次に1番になるものを見つければよいのです。

3・4ページの<太い細い><厚い薄い>は、普通の生活をしていればわかる問題です。わからなければ日常生活の中で指導してあげましょう。

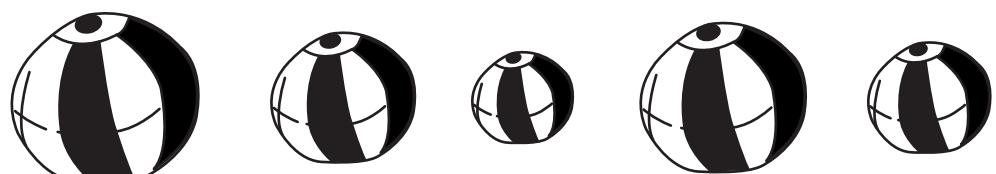
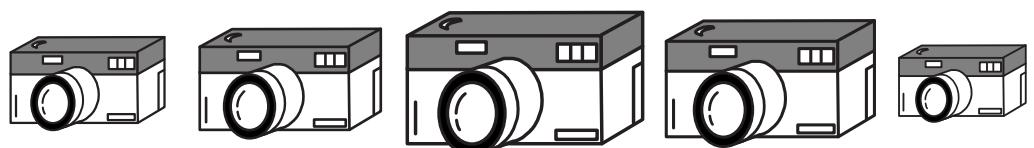
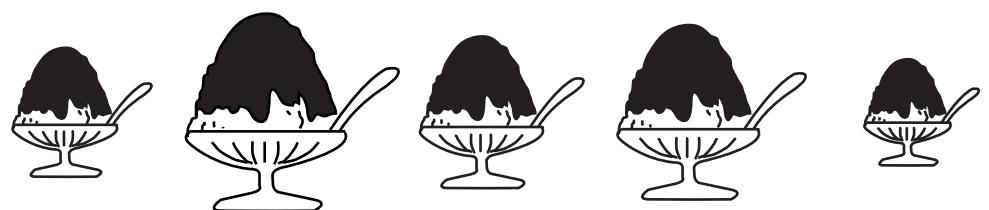
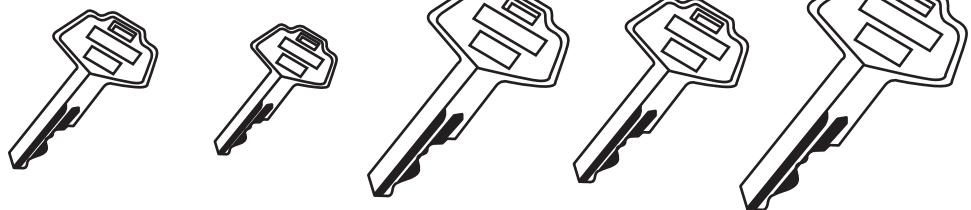
5ページの<広さ①>は、対角線や水平線・垂直線で半分にしてみれば、広いほうは簡単に見つかります。<広さ②>も同様です。

7ページの<長短①>は、左右のものを比較して長い方を見つける問題です。8ページの<長短②>は、旗の柄の長さを比べる問題で、9ページの<長短③>は、2番目に長いもの、短いものを見つける問題ですが、全体を視野に入れ、1番のものを見つけて消去し、残った中で1番のものを見つける問題です。

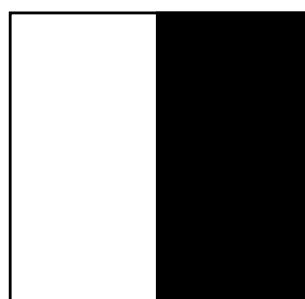
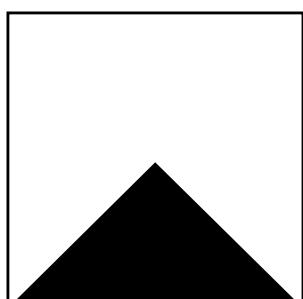
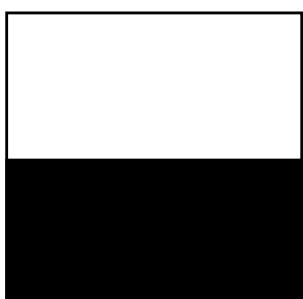
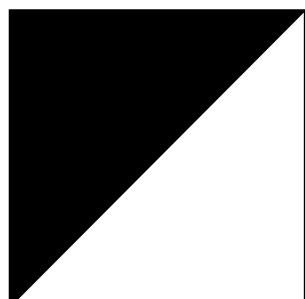
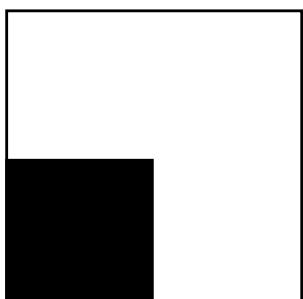
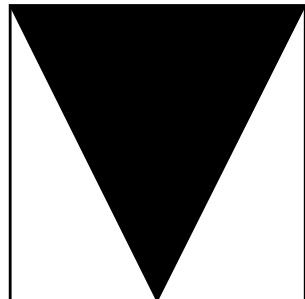
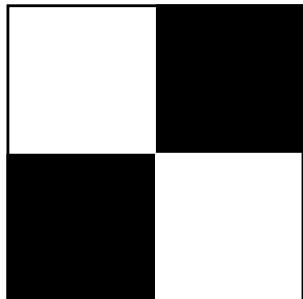
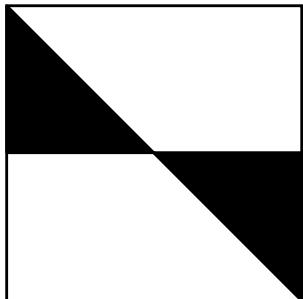
10ページの<量の多少①>は、説明などせずに単純に1番多いものを探させましょう。<量の多少②><量の多少③>も、できないときは説明せずにまずは実験して理解させてください。

13～28ページの<重さ>の問題については、能力育成問題集23の「重さ比べ」を参考にしてください。

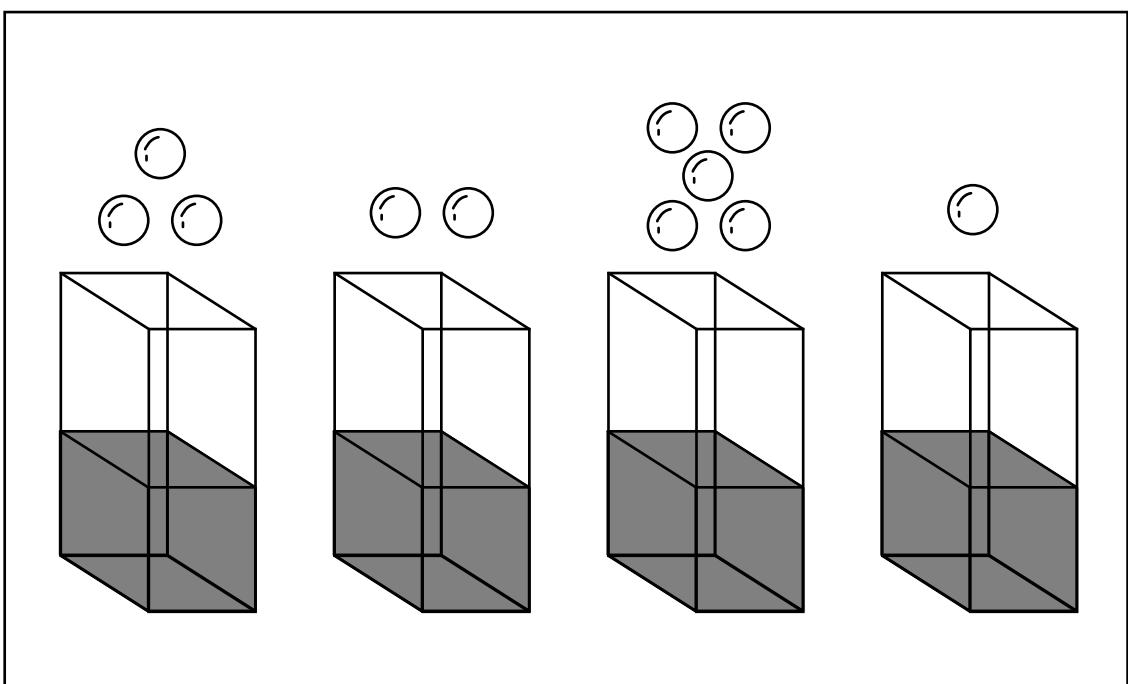
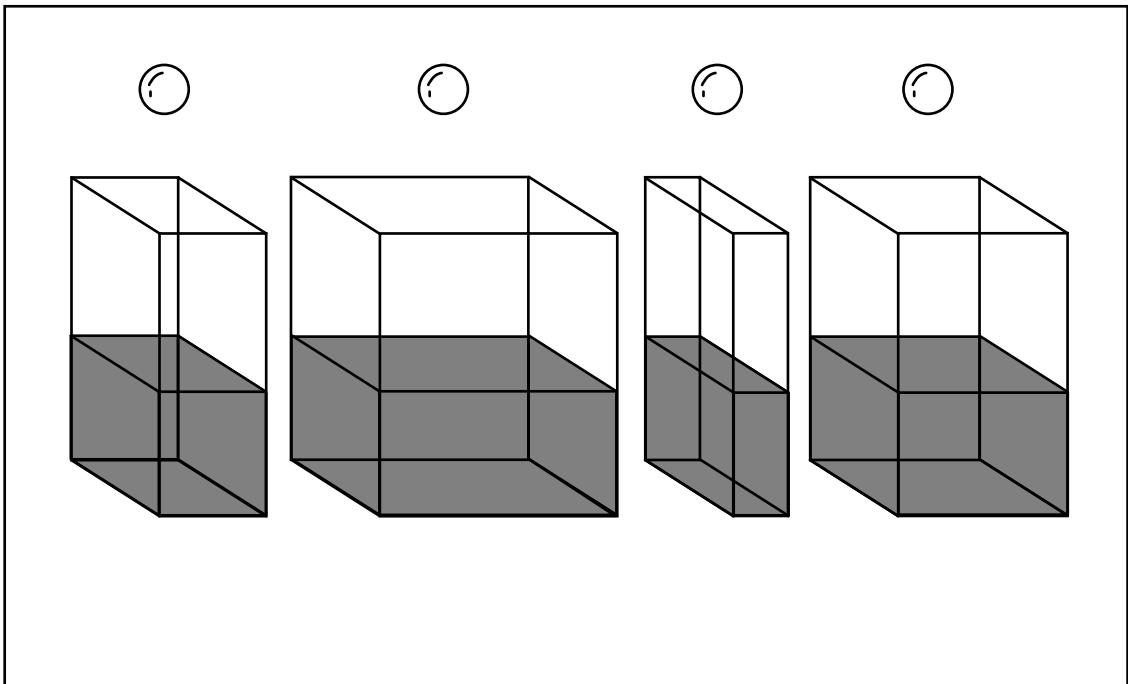
<大小①> 一番大きいものに○を、一番小さいものに×をつけましょ。



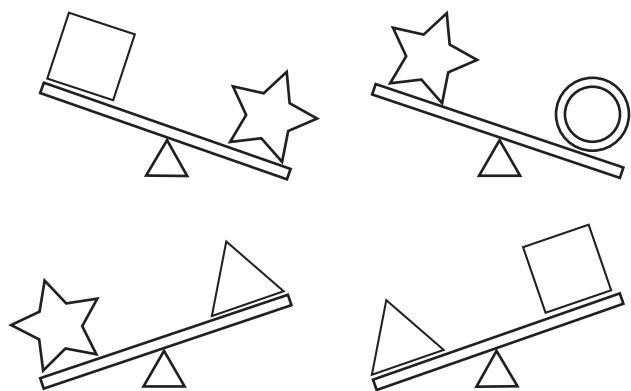
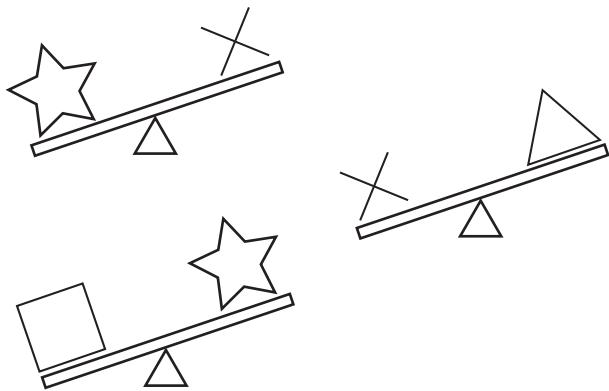
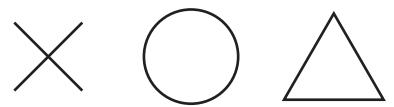
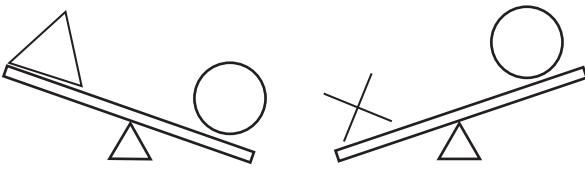
<広さ②> 黒いところが、全体のちょうど半分の広さのものに、○をしなさい。



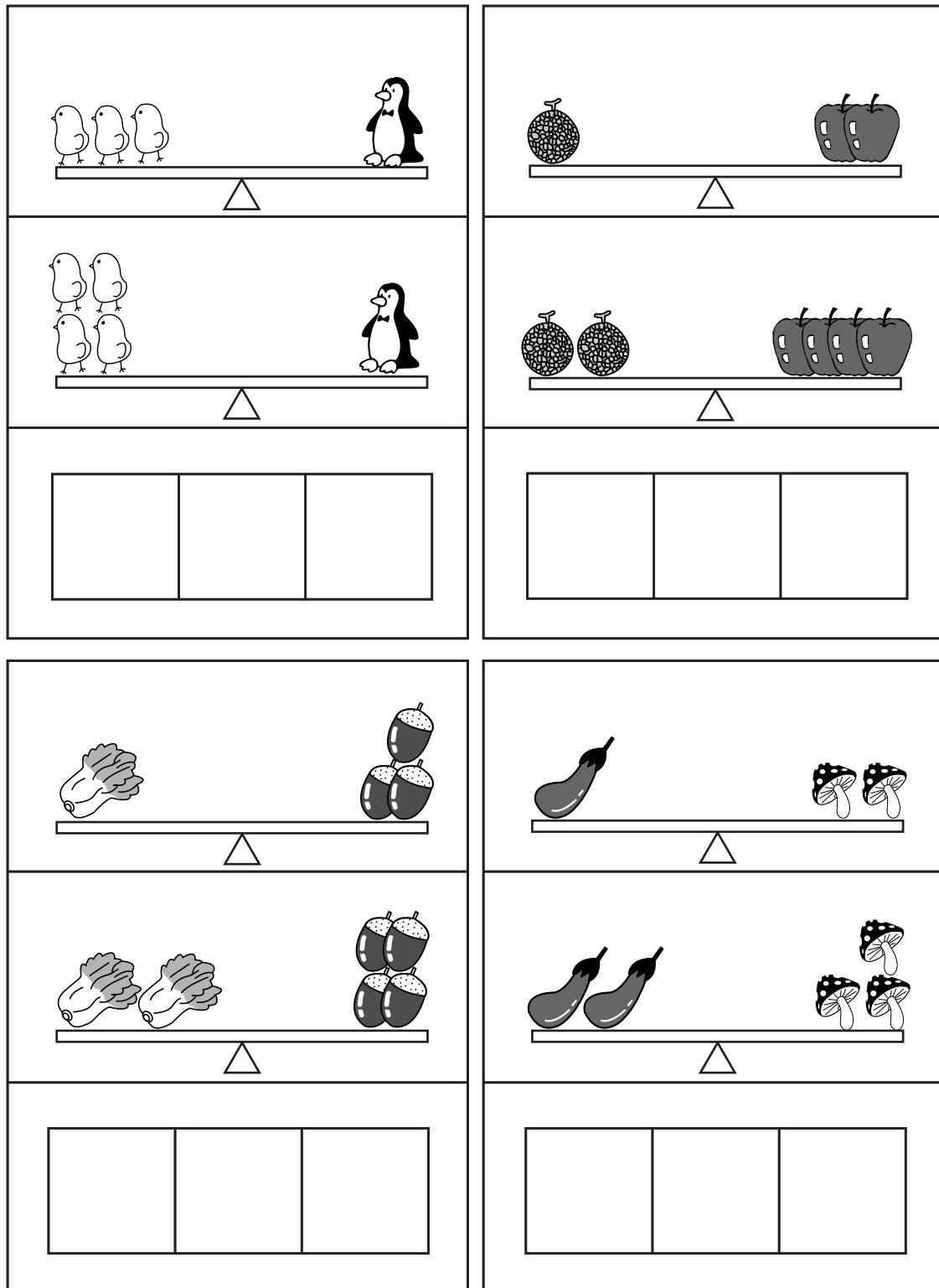
<量の多少②> 同じ大きさのビー玉を、上の数だけカップに入れると、どのカップの水が一番上まで上がりますか？選んで○をつけましょう。



<重さ④> 左から重い順に並んでいる組み合わせを右から選んで、○をつけましょう。



<重さ⑨> 上のシーソーは釣り合っていますが、下のようにするとシーソーはどちらへ傾きますか？左に傾くと思う人は、左の□に○を、右に傾くと思う人は、右の□に○を、釣り合うと思う人は、真ん中の□に○をしなさい。



<重さ⑭> 下の絵は、釣り合っています。棒の長さをよく考えて、一番軽いものに○をつけましょう。

